

第1回 SJAC講演会を開催

－航空会社の安全マネジメントー

(一社)日本航空宇宙工業会は、さる5月13日(水)15時より、ANA Training Education Center (ANATEC) およびANAグループ安全教育センター (ASEC) にて平成27年度第1回SJAC講演会を開催した。

ANA総合安全室長 田中龍郎氏から運航会社における航空安全の取り組みを講演頂き、併せてASECにてANA安全教育のプログラムの一部を受講者に体験して頂いた。

当日は約40人の参加者を2グループに分け、休憩を挟んで約3時間にわたり講演と安全教育を交代で受講して頂いた。

田中氏はANAで主に運航技術部門に従事された後、平成17年から総合安全推進室で航空安全に取り組み、平成24年からは室長に就任して今日に至っている。

今回の講演では、航空安全の取り組みの歴史、エアラインにおけるエラー対策およびリスクマネジメントの方法、そして安全の組織と文化について幅広く説明された。講演の趣旨は次頁の通りである。



講師：田中龍郎氏



講演会会場の状況

「事故の原因の約60%はヒューマンエラーであり、これに対して最初は技術的要因、次に人的要因への対策が取られて来た。近年では組織的要因への対策が進められ、事故率は顕著に減少している。またエラーを根絶する取り組みから、エラーの影響を最小限に抑えるマネジメントに進化している。リスクマネジメントのためにはヒューマンエラーに関わる自発的な安全報告をなるべく多く収集・分析して、予防的対策に役立てることが重要である。米国ではこの報告の情報源が非公開、非懲罰であり、事例の収集に大きな効果を上げている。」

ASECはANA社員の安全教育施設として2007年に開設されたが、現在では事前の申し込みがあれば一般にも公開されている。施設内では先ず墜石事故で回収された機体の一部が実物展示されており、続いて事故当時の記録を含めた映像を見ることで、航空事故の重大さを追体験した。次にANAおよび世界のエアラインで発生した航空事故の経緯、推定原因、事故後の対応や改善を紹介する展示の説明を受けて、事故から学ぶ重要性を認識した。また全員がキー入力を行って、単純な作業でも思い込みや慣れによってヒューマンエラーが起こりうることも体験した。

〔(一社)日本航空宇宙工業会 技術部部长 松田 隆〕